

歩く会のバックヤードをご紹介します

2022.10.14

4年ぶりの2日間の行程となった今年度の歩く会では、大休止が学び舎の水戸一高となりました。

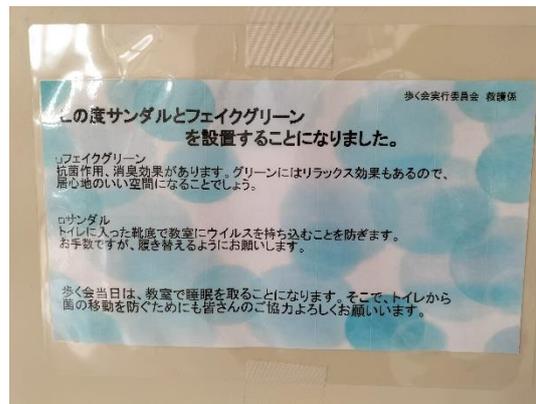
感染症対策のため、歩く会実行委員会救護係を中心として、校内の清掃や消毒作業による衛生対策を行ってきました。また、学苑祭実行委員会には、「心の救護」のための装飾準備にご協力いただきました。

そして、天候に恵まれた10月8日、9日は、AMAT（Arukukai Medical Assistance Team：歩く会医療ボランティア）のメンバーがスタート地点からゴールまで一緒に歩行して生徒の皆さんの健康観察を行い、休止地や関門では応急手当をしてくださいました。

歩く会救護係による校内環境整備

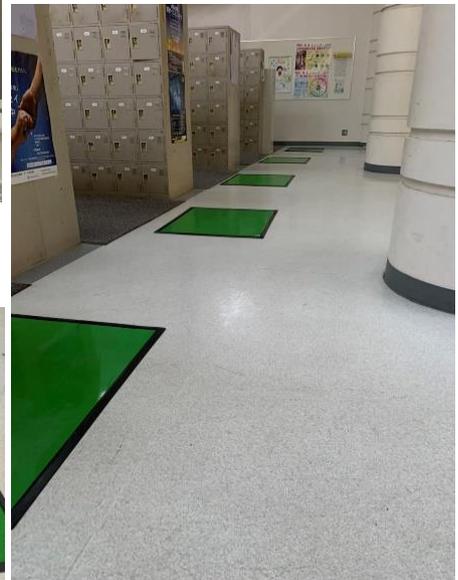
◎トイレスリッパ◎

教室にごろ寝をするためにも、上履きシューズとトイレの履き物を区別し、トイレの清掃を徹底しました。



◎粘着マット◎

上履きシューズの底に付いたゴミや汚れを昇降口で落としてから教室に入りました。



歩く会実行委員会救護係による前日の消毒作業



◎アルコール消毒◎

救護係で分担し、学校内の宿泊所となる教室や廊下をくまなく消毒、拭き取り作業をしました。

学苑祭実行委員会による前日準備

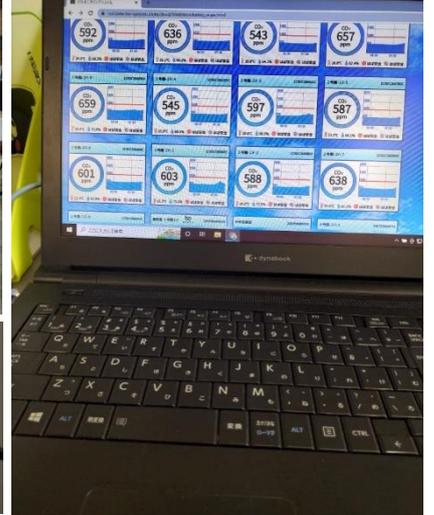


◎苑から歩へ◎

学苑祭から歩く会へシンボルのリレーです。大雨の中、実行委員の手で本城橋に設置しました。

AMAT (Arukukai Medical Assistance Team) 活動状況

AMAT は、生徒と一緒に歩行するチームと休止地・関門で救護を担当するチームに分かれて活動しました。



◎AMAT は不眠不休◎

歩行チームは、AED を背中のリュックに背負って生徒に陪同しました。歩行困難者にはテーピングをしていただきました。休止地・関門では、テントを立て救護物品を運ぶ設営からの活動となりました。大休止地では夜間から明け方まで、生徒が絶え間なく救護を求めて訪れました。真夜中には、各教室の換気が適切になされているかどうか、保健室にある二酸化炭素測定器の集中管理のモニターを確認しながら教室を巡回しました。

準備期間からゴールまでありがとうございました

これまでの歩く会2日目の自由歩行では、体力に自信のある生徒が競いながら学校にゴールしてきました。このため、上位者が途中で低血糖状態になったり、ゴール後に疲労困憊したりして、専門医受診を早急にする事態が頻発していました。今年度の自由歩行では、先頭にペースメーカーがついて速度を調整し、大きな傷病もなく無事に終了することができました。

夜は、本城橋のライトアップがとても美しく、疲れて学校に戻ってきた生徒の気持ちをあたためてくれるような心の救護となる光景でした。学苑祭実行委員会の皆さん、再びの素晴らしい装飾をありがとうございました。

また、歩く会から1週間が過ぎて、この行事を契機とした新型コロナウイルス感染症の発生は見られませんでした。感染症対策については、夏休み前から歩く会実行委員会救護係の生徒たちと検討を重ねてきました。校内の隅々まで行き届いた目配りに感謝しています。

そして、お忙しいご勤務のなか日程を調整していただき、ご協力くださいました AMAT の皆さん、本当にありがとうございました。

